

ところで、川西市のマンホールふたの種類ってどれくらいあるの？



上下水道局で管理しているマンホールふたは何種類あると思われませんか？ふたにも歴史があつて、はじめはコンクリートのふただつ



初期のマンホール

たんですよ！

そのあと管理していく中で、たくさんの種類を経過して今のタイプができました。昔は市章が入っ

ているものがスタンダードでした。今では交差点や坂道で滑りにくい耐スリップ型のものや、下水道に親しんでもらいながら市のPRに役立てようとデザインタイプのもをを設置しています。そして、今年度、満を持して新しいデザインを2種類導入することになりました。清和源氏ゆかりの地である多田神社をモチーフにしたタイプと、日本一の里山と言われている黒川地区をモチーフにしたタイプ



多田神社デザイン



黒川地区デザイン

で阪急川西能勢口駅北側に設置しています。

現在は、市花のりんどうと市木のさくらが描かれているふたが主流となっていますが、新しいデザインマンホールふたも地域を限定して設置していきたいと考えています。

ところで、マンホールふたにも親子があるのをご存じですか？カメの親子のように、大きいふたの上に小さいふたがついている物を親子ふたといいます。なぜ、こんなふたが必要かという実は、このふたの中にはポンプ



親子ふた

施設があり、人の出入り以外にも機械の出し入れを行うために、このような変わったふたになっています。

旧型のマンホールふた



耐スリップ型のマンホールふた



デザインマンホールふた



川西市のマンホールふた



こんなに種類があつたんだ！
きんたくんのマンホールふたもあるんだね！
探しに行ってみよう！

